

## 令和4年度第3回北渡島檜山圏域地域医療構想調整会議 議事録

〔対面会場で、音声聞き取れない不具合あり(議事録P.11～12の朱書き部分)  
オンライン参加者側では聞こえており、檜山・地政課からデータ提供あり。〕

### 【渡島総合振興局保健環境部八雲地域保健室 橋本次長】

それでは、時間となりましたので、ただいまから「令和4年度第3回北渡島檜山圏域地域医療構想調整会議」を開催いたします。

本日は、大変お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。

当面の進行を務めます渡島総合振興局八雲地域保健室次長の橋本です。よろしくお願いいたします。

開会にあたりまして、渡島総合振興局技監で八雲地域保健室長の山本よりご挨拶を申し上げます。

### 【渡島総合振興局 山本技監】

開会にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

本日お集まりの皆様におかれましては、日頃から地域医療構想の推進につきまして、ご協力いただき厚く御礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症対策におきましても、昨年10月の病床確保料の取扱いの改正に伴って、北渡島檜山管内では、重点医療機関が4病院となり、陽性患者の受入体制が拡充されております。一般診療と両立を図りつつ、ご対応いただき、重ねて御礼申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染症につきましては、皆さんご存知の1月21日に、国の新型コロナウイルス感染症対策本部において5月8日から5類感染症に位置づけることが決定され、医療体制についても、幅広い医療機関が対応する体制へと段階的に移行すると決定されていますが、引き続きご協力お願いいたします。

地域医療構想に関しましては、昨年8月末に第2回調整会議を開催し、地域医療構想の進捗を中間総括の上、引き続き連携と協力を図っていく旨を、外崎会長に整理いただいたところですが、本日は「八雲町熊石国民健康保険病院」や「せたな町立国保病院」から、建替事業の報告いただいた後、公立病院経営強化プラン策定や働き方改革への対応などの意見交換を予定しておりますので、各病院の皆様の様々な取組の一助となれば幸いです。

本日の調整会議は委員の皆様のほか、管内病院長・事務長にもご案内したところですが、加えて、関係機関、関係団体から多くの方々にご出席いただいておりますので、幅広くご意見をいただければと思っております。

皆様お忙しい中、大変ありがとうございます。終わりになりますが、本日の会議が地域医療の推進に向けて、実り多いものとなるよう期待いたしましては簡単でございますが、私の挨拶に代えさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

### 【渡島総合振興局保健環境部八雲地域保健室 橋本次長】

本日は、概ね19時30分までの終了を目指して進めて参ります。約1時間半と限られた時

間ではございますが、有意義な会議となりますよう、皆様のご協力をお願いいたします。

本日ご出席の皆様をご紹介します。まず、委員の皆様です。出席者名簿をお配りしていますが、当会場には、木幡長万部町長の代理で佐藤副町長様、続きまして、外崎今金町長様、そして、高橋せたな町長様にお越しいただいております。

以下は、オンラインでご出席の皆様でございます。岩村八雲町長の代理で成田副町長様、今金高等養護学校の飯出学校長様、八雲総合病院の石田院長様、今金町国保病院の川岸院長様、函館歯科医師会の吉村様、函館薬剤師会の河野様、八雲町民生委員協議会の能代会長様です。

次に、管内の病院関係でオブザーバーでご出席の皆様です。会場には、八雲町熊石国保病院の福原事務長様、長万部町立病院の本前事務長様、せたな町役場の樋口保健福祉課長様、せたな町立国保病院の大島院長様、西村事務局長様にお越しいただいております。

オンラインでは、八雲総合病院の竹内事務長様、今金町国保病院の杉山事務長様をご参加です。

次に、本日の議題「公立病院経営強化プラン策定」の関係で、渡島総合振興局及び檜山振興局の地域政策課から清水係長、島主事、高橋係長がオンライン参加です。

次に、地域医療構想アドバイザーをご紹介します。本日は、北海道医師会から荒木常任理事様、北海道病院協会から西澤常務理事様、以上2名のアドバイザーの皆様がオンライン参加いただいております。

そのほか、北海道厚生局地域医療構想等推進専門官の岸様、北海道医師会の太宰係長様がオンライン参加です。

最後になりましたが、道本庁で地域医療構想を所管しております地域医療課からは、竹内課長補佐がオンライン参加です。

以上、ご紹介申し上げます。皆様、本日はよろしく願いいたします。

それでは議事に入る前に資料の確認をさせていただきます。お配りしている資料は、会議次第、出席者名簿のほかに、説明資料として、次第の下段にお示しております、資料1から3です。資料番号はそれぞれの資料の表紙右肩に記しておりますのでご確認ください。不足や落丁等がありましたら、会場の方に限り、事務局までお申し出ください。よろしいでしょうか。

それではここからは、調整会議の議事となりますので、進行は当会議の議長であります外崎会長をお願いしたいと思います。なお、この調整会議でこのように、リアルとオンラインのハイブリッドで開催するという初めての試みですので、皆様におかれましても、何かと戸惑う部分もあろうかと思いますが、事務局の方で随時サポートさせていただきますので、よろしく願いします。例えば、音声が届かないなどの不具合がありましたら、チャットなどをお使いの上、お知らせいただければと思います。

それでは、外崎会長よろしく願いいたします。

### 【今金町 外崎町長】

皆さんこんばんは。調整会議の会長の外崎でございます。本当にお忙しい時間帯でありますけども、ご参集、そしてご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

本日は、普段の調整会議と違った形になるわけでありまして、その中では、聞きづ

らい、或いは、なかなか発信の難しい状況もあるわけでありませうけど、そこをしっかりと乗り越えて、皆様のご意見をいただければと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げたいと思ひます。早速でありますけども、レジュメに沿って会議を進めさせていただきたいと思ひます。

最初に、「報告1」でありますけども、八雲町熊石国民健康保険病院の建替再検討についてでございます。事務局の方から説明をいたしますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

#### **【渡島総合振興局保健環境部八雲地域保健室企画総務課 宅間企画主幹兼企画係長】**

事務局の八雲保健所で企画主幹をしております宅間と申します。

まず、「報告1」の八雲町熊石国民健康保険病院の建替再検討についてご説明をします。

資料1になります。熊石国保病院の建替については、これまでの経過をお話しますと、令和2年3月開催の令和元年度第3回調整会議で、99床から45床にダウンサイジングし、現病院敷地内での建替を進める旨を書面開催により審議いただいた経過があります。

当時の計画では、令和3年10月頃までに実施設計を終え、令和4年2月からは建設工事が始まるというスケジュールでございましたが、令和3年10月に八雲町として再検討を行うという整理をされたことから、調整会議でもその旨を書面報告いただいたところでは。

資料に記載のとおり、今年度の第1回調整会議では、持続可能な経営の確保のため、再検討の結果を病院からご報告いただいておりますが、これまで書面での報告が続いた経過がございますので、今回、福原事務長にお越しいただき、その後の進捗・経過報告をいただくこととしました。それでは福原事務長よろしくお願ひいたします。

#### **【八雲町熊石国民健康保険病院 福原事務長】**

八雲町熊石国民健康保険病院事務長の福原と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

熊石国保病院建替事業につきましては、令和2年度に基本設計を終えたところでしたが、病院を取り巻く環境が一層厳しさを増し、将来の病院運営に過度の負担がかかるとの予測から、事業の再検討と協議を重ね、当初計画の変更を行いました。

昨年の第1回調整会議において、当初計画である病床数45床から30床へ、延べ床面積3,900㎡から3,300㎡へ、建設地は現地建替から3kmほど離れた町有地への移転建替とした新病院の内容の変更を報告し、ご審議をいただきました。

現在の建替業務は基本設計業務に取りかかっておりまして、本年3月までの業務期限としております。本日は基本設計業務の、ここまでの経過について、計画図面を用いて報告をさせていただきます。資料につきましては、A3版3枚お配りしておりますので、1枚目をご覧ください。

1枚目は、敷地への新病院と駐車場、ドクターヘリ離着陸場の配置図となります。図面の上方は熊石地域のパークゴルフ場、また、熊石ひらたない荘が位置する山側、図面の下方が特別養護老人ホームくまいし荘やデイサービスセンター、また、国道229号の海側となります。

図面中央に、ほぼ正方形の躯体となる新病院を配置してございます。建物正面玄関は軀

体図面下側としており、日当たりの良い南側を正面としております。正面前には、広く来院者駐車場を配置して、建物の左の西側に職員駐車場、建物の右の東側には、ドクターヘリ離着陸場を整備いたします。当初よりこの敷地は、ドクターヘリランデブーポイントとして使われており、これまで同様に、ドクターヘリを受け入れるよう敷地内を整備いたします。

次のページをお願いいたします。1階の計画平面図であります。図面下の正面玄関より院内に入ります。図面左側に受付会計窓口と院内薬局が並び、図面右側、外来診察室と中央処置室を配置した診療エリアとなります。外来診察室から図面上側、建物奥に進むとエコー室・心電図室・内視鏡室がある生理検査と、レントゲンの撮影室を配置しております。また、図面右側に救急外来と、発熱外来を独立した玄関で設けております。図面上部から中央、そして左側へとボイラー室や給食調理室などの供給エリアとしており、診療エリアと明確に分けたゾーニングとしてございます。

次のページをお開き願います。2階の計画平面図であります。

病棟は、図面右の東側と図面下の南側に病室を、中央にスタッフステーションなどを配置してございます。病室は1人部屋が4室、2人部屋が3室、4人部屋5室の合計30床の病床数でございます。また、図面右上の1人部屋1床部屋2室を感染症患者に対応する病室をして計画してございます。普段は通常使用の病室ですが、入院療養が必要な感染症患者を治療する際は、両病室前の廊下をイエローゾーンとして隔離して、独立した換気設備を稼働する感染症対策エリアとして整備をして、単一病棟で、新興感染症に対応できるよう計画してございます。図面の左側には、入院・外来に対応したリハビリステーション、図面の右側は院長室、医局、職員休憩室を配置した管理エリアとしてございます。

最後のページは、屋上の空調の配置図でございます。

以上、計画図面を用いて報告をさせていただきましたが、概算事業費及び事業スケジュールの作成につきましては、現在も作業中でございます。概算事業費につきましては、当初より定めていた約22億円を目標に積算作業を進めてございますが、昨今の建設コストの高騰により変動が予想されることから、多方面で精査を要すると考えてございます。事業スケジュールにつきましては、現時点での予定であります。新病院のグランドオープン令和7年6月に定め、総合的な調整をしているところでございます。

以上簡単でございますが、熊石国保病院建替事業について経過報告をいたします。よろしくお願いたします。

#### 【今金町 外崎町長】

事務長から計画報告がありました。それではただいまの報告に際しまして、参加者の皆様からご質問やご意見等を受けたいと思っておりますので、よろしくお願したいと思っております。

ご質問の際には挙手をお願い申し上げたいと思っております。いかがでしょうか。どなたかございませんか。

#### 【せたな町立国保病院 西村事務局長】

せたな町立国保病院の西村と申します。よろしくお願いたします。

今の福原事務長さんの説明を聞きましてですね、1つお伺いしたいんですけども。

この後、せたな町立国保病院の建替の説明もあるんですが、せたな町での医療等対策審議会という会議があるんですけども、そこでドクターヘリのヘリポートですね。それを考えたらどうですかというご意見をちょうだいした経緯がありまして、それで伺いたいですけども。

今、熊石さんのこの現状を見ますと、この建物の右に設置しますけども、近くのドクターヘリまでと言ったら、どれくらいの距離あるんですか。雑駁でいいです。

#### **【八雲町熊石国民健康保険病院 福原事務長】**

ご質問ありがとうございます。

病院敷地内にドクターヘリを整備することで進めてございますが、熊石地域のドクターヘリのランデブーポイントは、この場所を今も使っています。ここから一番近いところといたしますと、基本的に隣町の乙部町ですとか、せたな地域になるかと思えます。

ただし、熊石地域にもですね、この場所以外にも、学校のグラウンドとかも候補には入ってございますが、今現在、ドクターヘリのランデブーポイントとして使用してるのは、この住所といたしますと「熊石平町」という、新しい病院の建設地ということになります。

元々あるドクターヘリ ランデブーポイントで、病院の敷地に整備するとですね「ランデブーポイント」という名称ではなく「ドクターヘリ離着陸場」という名称に変わるんですけども、道南ドクターヘリ事務局と協議をさせていただきまして、工事中もドクターヘリ ランデブーポイントとして使用しつつ、工事完成もドクターヘリ離着陸場として、ドクターヘリを入れることで、今整備を進めております。

#### **【今金町 外崎町長】**

ありがとうございます。私もちょっと今の質問で懸念したのが、工事の建物から近い部で大丈夫なのかなと、ちょっと思ったんですけども問題がないということでもありますので、よかったですね。

あとその他、何か参加者の方でございませんでしょうか。

このことにつきましては、指導機関、或いは、行政の窓口でありますところの渡島地域政策課の方で何かコメントがありましたらお願いしたいと思いますんですけども、よろしゅうございますでしょうか。

#### **【渡島総合振興局地域創生部地域政策課 清水市町村係長】**

私、市町村係長清水と申します。本日、オブザーバーとして参加させていただいております。市町村係については、市町村の行財政に関する業務を所管しておりまして、公立病院関連では、建替事業にあたって、その財源となる地方債の手続き等でですね、病院関係者ですとか、市町の財政部局の皆様と関わりがございまして。

本日、八雲町さん及びせたな町さんの国保病院の建設事業が議事とされているということで、私の方から公立病院関係の地方財政措置のうち、1点ご紹介したいところがありますので、よろしく申し上げます。

内容につきましては、建築単価の見直しというものになります。公立病院の新設ですとか、建替等に対する地方交付税措置の対象となる建築単価の上限が令和4年度に36万円か

ら40万円に引き上げられましたが、先ほどもお話があったとおり、昨今の資材費高騰等の状況を踏まえて、国の方では令和5年度、更に47万円に引き上げることとされまして、この金額は、今年度、令和4年度から適用されるという運用となっております。ただし、資材費以外においても、人件費だとかエネルギー価格の高騰など、様々な要因で建設コストの上昇が続いておるといことで、病院の建替にかかわらず、様々な事業費算定に苦勞されているということで、皆様の声を耳にしている状況でございます。病院に限って言えば、こうした状況ってというのが、建替後の収支状況に大きな影響を与える恐れがあるということもありますので、引き続きこういう物価上昇等の影響に十分注意していただくような取組・留意等として気をつけていただければと思います。私どもからは以上です。

### 【今金町 外崎町長】

情報ありがとうございました。私も経験論じゃないんですけど、議会もよく言うんですけども、やっぱり建設費の関心度というのは、とても高いわけでありまして、その際、私コメント出すのは、基本的には様々な単価の問題がありますけども、結果的には実施設計やって初めて数字が出るんですよって話をさせてもらいますよ。

あくまでも憶測を出れない。ですから明確な答えが言えない。単価があっても単純に面積に単価を乗じるでいかないんですよ。やっぱり実績設計あって初めてある程度、数字が出てますのでそれまで時間をくださいって話をさせていただいてますけども。

その前提となるお話をいただきました。本当に情報ありがとうございます。

今、お金の問題もあるわけでありまして、とりわけこの間、この構想があった時に八雲町長からも色々とお話を聞いた部分があるわけでありまして、とりわけ住民といたしましては、病床数が少し下がってくるというようなことで、とても課題があるんだという話を伺ってきましたけども、今言われたような病院の規模、或いは、建設場所が変わって、ちょっと市街地から外れるという形になるわけでありまして、これから説明のある、せたな町さん、先ほど言ったように様々な協議会があって、こういうのを聞く場面もあったかと思うんですけども、熊石さんに限っては、地区の方々の反応だとか、様々な意見、それに対する調整等含めて、何か皆さんに、今、情報提供できるものがありましたらお願いしたいと思っておりますけども。事務長いかがでしょうか。

### 【八雲町熊石国民健康保険病院 福原事務長】

ご質問ありがとうございます。

建替事業を進めること、新病院を建設することにつきましては、住民の方々も理解をいただいているというふうに捉えております。

ただ、当初計画の病床数、45床からダウンサイジングして30床へ、病床数の減少・縮小したことへの不安っていうのは、まだあるのかなっていう、そういった不安・心配はあるというふうに私自身も感じてございます。

これにつきましては、見直し・再検討を行ったという経緯、特に熊石地域の人口の減少が想定よりも早く進んでいるということ、また、将来にわたって医療スタッフの確保が難しい、そういった予測もできること、また、機能分化を図る必要がありますので、特に急性期患者の治療につきましては、八雲総合病院との連携が必要だということ、こういった

将来が、ますます厳しく予測されることが考えられますので、地域医療確保して持続可能な病院を目指すためにも変更が必要ですよということは、丁寧に今後も説明をしていきたいというふうに考えてございます。

また、病院の場所を変更するに至りまして、地域の方々からは、特に反対ですとか、心配だっというお声はいただけてはなかったんですね。現在、病院への来院・通院の手段というのが徒歩よりも、自家用車ですとか町運行の患者輸送バス、また、デマンドバスを使った方がとても多いということで、新病院となった時も、こういった交通手段を充実していきますよっというアナウンスをしているところでですね、そういった不安がないのかなというふうに感じております。以上です。

#### **【今金町 外崎町長】**

本当に情報ありがとうございました、足の確保は全てのところでも、言えるわけでありますので、それ辺の対応っというのは、しっかりと行政としてやっていかなきゃいけないのかなと。

今ちょっと言葉にありましたように、今、病床数が減ることを含めて急性期の対応含めて、八雲町という全体の捉え方しますと、基幹病院の八雲総合病院の関わりっというのは随分大きく出てくるのではないかなと。そう感じた場合に八雲総合病院としても、しっかりとその辺をフォローするだとか、或いは、様々な足の手段も含めてそうでありましようけれども。問題はないと思いますけど、課題だとか経営体制を取るために何かこうを今、思ってるような、或いは、このようなことを気をつけていかなきゃいけないというような部分がありましたら、参加しております竹内事務長、何かコメントありましたらお願いしたいと思っておりますけどいかがでしょうか。

#### **【八雲総合病院 竹内事務長】**

八雲総合病院事務長の竹内です。平素よりお世話になっております。これにつきまして石田病院長の方から、発言をさせていただきたいと存じますので、よろしく願いいたします。

#### **【一般社団法人渡島医師会常任理事 石田八雲総合病院長】**

総合病院の院長の石田です。

一応、今、考えているのは急性期の治療がこちらで終わった段階で、熊石の方は熊石にお返しするというのが、一番ベストかなと考えてるんですけども。

ちょっと僕も一つ懸念をしてるのは、熊石の人口減がかなり急速に進んでるということと、30床を多分、病院が埋まるのかなっということと、あと例えば道南病院長会議などに出てますと、どの病院でも一番の問題が看護スタッフが、かなり不足してるってことなんですね。それで例えば30床で今後やっていけるかどうかっというのは、ちょっと不安があります。以上です。

#### **【今金町 外崎町長】**

ありがとうございました。先生おっしゃった部分については、どこの病院も共通する課

題。将来先を見た場合の大きな課題になるのかなと言う認識を持たせていただいたと言います。ありがとうございます。

あとございませんでしょうか。なければ次に移ってよろしいでしょうか。よろしゅうございますか。

それでは「報告2」に入らせていただきます。「せたな町立国保病院の建替事業 基本構想・計画」についての概要の説明を共有したいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

### 【せたな町立国保病院 西村事務局長】

それでは改めまして、せたな町立国保病院の事務局長の西村と申します。本日はよろしくお願ひいたします。私からは、「資料2 せたな町立国保病院の建設事業 基本構想・計画【概要版】」というのを用意させていただきました。それでは現在の状況について、ご説明をさせていただきますと思ひます。

まずはじめに、この策定の経緯について申し上げます。現在の病院の建物につきましては、昭和49年に建設されたものでございまして、築48年という年限が経過しております。相当、老朽化が進んでおりまして、診療等への影響も懸念されている状況でございます。そのため、建替に向けまして、病院機能のあり方や方向性を検討するとともに、建替に関する方針を整理するため、基本構想、基本計画を策定することといたしました。

現在の病院の病床数が60床、これは一般病床です。それと届出診療科は8科ございます。

次に、新病院の整備の基本方針についてでございますが、期待される役割、それから重点機能というのを記載しておりますが、重点機能といたしましては、救急医療、それから医療・介護の連携、在宅医療、この3点を新病院で「特に強化する機能」と位置付けております。

次に、裏面をご覧いただきたいと思ひます。はじめに、これまでの検討経過についてご説明いたします。

まず、住民の代表13名で構成されておりますが「せたな町医療等対策審議会」という審議会がございます。これまで12回の開催をしてございますが、本日、ご参加いただいております。道庁の保健福祉部地域医療課の竹内課長補佐様、それから八雲保健所の西企画課長様にも毎回ご出席をいただいております。貴重なご意見をちょうだいしておりますことに、大変恐縮でございますが、この場をお借りして、お礼を申し上げたいと思ひます。ありがとうございます。

さて、この医療等対策審議会ですが、令和2年10月に基本構想に関する諮問を行いました。4回の審議を経て、翌年10月に答申を受けたものであります。また、基本計画につきましては、同年12月に諮問をしまして、こちらも4回の審議を経て、昨年12月に答申をいただいたところでございます。どちらの計画につきましても1年をかけて慎重な審議をいただきまして、答申をいただいたというものになってございます。

これとは別に町議会側では、「医療体制・新病院建設調査特別委員会」というものを設置しまして、医療等対策審議会で審議いただいたその内容につきまして、その開催の後に、議会側でも開催して説明をしているというものでございまして、これまで8回の開催をしております。この内容といたしましては、「(2) 病床機能・規模」、これについて在宅



復帰へ向けた回復期医療を中心に初期救急対応に伴う一般病床を組み合わせ、ダウンサイジングを基本とするなど、地域医療構想との整合性を図ったものとなっております。この表にありますとおり、基本構想では病床数が39床から46床と幅を持たせてございましたが、基本計画では35床を基準とするということで、今の60床からは、かなりダウンサイジングしたという内容となっております。

また、病床機能の面では、療養機能が充実されております。町内にある「道南ロイヤル病院」さんとの住み分けを図りまして、そういった役割分担、機能分化、そういうものを念頭に置きまして、計画を策定したものとなっております。

次に(3)ですが、標榜の診療科につきましては、現在行っております総合診療科を基本といたしまして、出張医による専門外来と合わせまして、それぞれ記載の科目を挙げてございます。

次に(4)の建設地でございますが、建設候補地といたしまして、町有地3カ所の現地視察や来院者、病院に来る患者様へアンケートを行うなどしまして、そういう比較検討をした結果、現在の病院が建っている、その場所が建設地として最適であると、そのように判断をされております。ただし、今の場所が本当に大雨、想定した以上の大雨が降った場合には、浸水の恐れがあるという区域に入っておりますので、建設にあたっては、浸水対策を十分に講じることということを確認されております。

最後になりますが、概算の事業費ですが26億円程度見込んでおりますが、先ほど熊石さんの福原事務長さんからもお話しございましたが、昨今の、この人件費のアップ、それから資材・燃料代等の高騰、これらの影響によりまして、事業費が膨らむことを視野に入れまして、今後の作業を進めて参りたいとこのように考えております。

財源につきましては、下にお示したとおり、病院事業債と過疎債、それと関連する補助金などを念頭に置いて進めるということでございます。私からの説明は以上でございます。

雑駁な説明で恐縮ですが、以上で終わります。

#### **【今金町 外崎町長】**

はい。ありがとうございます。では西村事務局長さんから説明があったわけでありませうけれども、参加者の皆さんから何か質問ございませんでしょうか。

私の方で振らせていただきたいと思っておりますけれども、先ほど、熊石さんからお話しがありましたように、この今まで起こった調整の中では、道の地域医療課、或いは、檜山振興局の地域政策課の方も関わっているという話を伺っております。私が今聞いた範囲内では、とても住民サイド、或いは、行政サイド、議会サイドにおいても、丁寧に議論なり調整が図られるのかなという感じをするわけでありませうけれども、その上で、今お話をしました地域医療課、或いは、地政課の方から何かコメントがありましたら、情報提供いただきたいと思っておりますけれども、よろしくお願ひしたいと思っております。

#### **【保健福祉部地域医療推進局地域医療課 竹内課長補佐】**

会長、ご指名ありがとうございます。道庁地域医療課の竹内でございます。

今ご紹介ありましたように、せたな町の国保病院の建替に関する基本計画の協議にオブザーバーとして参加をさせていただきました。今回、その協議の中身としましては、病院

の建替でございますので、地域医療構想の指標とする2025年だけではなくて、2040年以降を見据えたそうした内容になっているか、或いはせたな町だけではなくて、圏域内を見渡して、他の病院との機能分化、或いは、連携によって持続可能な医療提供体制を構築しようとしているか、そうした観点で今回、せたな町さんの病院建替に関する基本計画については、これらの視点から矛盾をしないものだということ考えているところでございます。

例えば病床数、先ほどご説明ございましたけども、現在の規模としては60床でございますが、こちらも例えば2045年を見据えたときに、人口推計、医療需要、そういった推計をもとに、元々その基本構想の段階では、39床から46床という規模、それを今回、基本計画では35床を基準とするといったことで、これも将来的に持続可能な運営というところでもすね、観点に入れた議論が行われまして、35床までのダウンサイズを基本とするという形で議論が進められたところでございます。

これにつきましても、例えば2020年の管内人口、圏域内の人口できいきますと多分、大体3万3,000人ぐらいだと思うんですけども、これが2040年ですと、約2万人位となってしまいますので、3分の2以下になる、そういったことを勘案しましても、先ほどご指摘あった医療スタッフの確保とか関係もございまして、現状その妥当な規模かなど。60床から35床でいけば、人口推計に沿った形であろうということ考えてございます。

また、病床機能でございますけども、高齢化の進展に伴いまして、人口構造ですとか、疾病構造の変化を見据えて、回復期病床への強化ですとか、医療・介護事業に対応できるように、地域密着型病院としての方向性も、基本計画の中では、実は謳われておりまして、それに加えて、かかりつけ医の機能としての役割も果たそうという形で計画をしているものと承知してございます。病院の目指すべき方向性というものはですね、将来のこの圏域内における、必要とされる医療提供体制に沿った内容で、議論が進められてきたかなというふうに考えているところでございます。

最後に付け加えますと、このほか病院の将来像としては、圏域内の役割分担を視野に入れてるってところも一つ付け加えさせていただきたいと思っております、ご説明ありましたけども、その初期救急は維持しつつも、例えば二次・三次救急については連携をしようというところは基本計画にも記載されておりますし、また、概要には書かれてなかったんですけども、公立病院としての性格もございまして、その5疾病5事業といったような政策医療について、自分のところの病院で全部担おうという計画ではなくて、一部は八雲総合病院さんと、或いは、他の医療機関との連携を想定した中身になっているといったような形でですね、病院の機能の連携も前提とした計画となっているのではないかなという形でございますので、具体的な機能の連携のあり方については、引き続き、調整会議の場で皆様と共有しつつ、ご議論を深めていただければ、その圏域内の機能分化、連携が一層深まるのではないかなということ考えているところでございます。

ちょっと長くなりましたけれども、今回のせたな町さんの基本計画については、地域医療構想に資する内容かなというふうに考えてございます。以上でございます。

#### 【今金町 外崎町長】

竹内補佐ありがとうございます。先ほどの西村事務局長、そして竹内補佐からの様々な言葉がありました。基本的には、地域医療構想を見据えての様々な検討・対応してき

たということから、ポイントとなるのは、今言ったように病床を含めて病院の機能という形に当然、なるわけでありますけども、そういう中にありながらも、最も大きいのが、やはり先ほどもありました人口減少の問題、スタッフの問題かと思うわけでありますけども、ここで公立病院の建替、我々は「改築」というですけども、それに向けてですね今いろんな、お話しがあったわけでありますけども、このことに関して、地域医療構想のアドバイザーの先生、荒木先生、西澤先生、今日参加されているわけでありますけども、何かアドバイスなり、或いは、感想等ございましたらご発言いただきたいと思っておりますけども、よろしく願いいたします。

#### 【北海道医師会 荒木常任理事】

北海道医師会の荒木です。よろしく申し上げます。

まず医療機関の例えばダウンサイジングですとか、再編をする時にやっぱり一番大変なところ、苦勞されるところがやっぱり住民の皆さんの理解を得るところだと思っております。やっぱり全国のそういった再編統合されたところで、やはり皆さん一番苦勞したと言われるところはその部分です。

今お話伺ってますと八雲町の方に関しましても、せたな町に関しましても、当然十分な分析を行った上で、大変丁寧に住民に対する説明をされているということを伺いまして、そこが一番重要なんだろうなというふうに思っております。

また、せたな町さんの方は、民間の医療機関さんの方も含めた形で連携・機能分化を協議されてるってということで、これなかなか今般の地域医療構想では、その民間医療機関を含めた形で、協議をして話をまとめていくということが求められているところでございますが、大変、先進的な取り組みをされていて、素晴らしい成果が出てくるんじゃないかというふうに思っております。

引き続きですね、住民の皆さんの理解を得ながら、医療従事者、そして患者さんともに、安心して医療を受けられるような、そういった環境を作っていただければと思います。

以上でございます。

#### 【今金町 外崎町長】

荒木先生、ありがとうございました。

西澤先生も何かアドバイスがありましたらお願いしたいと思うんですけど。

#### 【北海道病院協会 西澤常務理事】 ※朱書は、対面会場では聞き取れなかった部分。

今、荒木先生も言ったとおりでございます。本当の一番の問題っていうのはこれから人口が減っていくことだと思います。人口が減っていくっていうことは、要するに患者数も減る、それ以上に職員の確保ができない、こういう悩みを持ちながらどうやるかっていうことです。一つの町で完結は無理なんで今、色々、病院の方は民間病院との連携とかやってるかと思います。もうちょっと広く連携っていうことを考えていただきたいと思っております。

あと大事なのは介護サービスの資源がどれくらいあるかっていうことが、やはりその病院の計画に大きく影響だと思います。例えば将来の人口が減るわけですけども、その中で高

齢者はどうなるのか、高齢者が割合が多くなって、若い人、働き手が減るのか、そうじゃなくて高齢者も減るのか、その辺の分析。

それから、高齢者といっても大体70歳以上となると思うんですが、高齢者の数の中で例えば、今と20年後変わらないとしても、70歳以上の中で80歳を基準にして80歳以上と80歳以下を考えるとどうなるか、例えば今団塊の世代が多いのでおそらく70歳以上で70歳から80歳の間、要するに70歳前半の人がすごく多いと思うんですね。ですから70歳以上で80歳の割合っていうのは今、あまり多くない。ところが将来もし同じ数の高齢者がいたとしても、それが団塊の世代が年を取っていくと、80歳以上の割合が非常に多くなるということになると思うんです。そうしたときには、医療の需要もありますけれども、高齢者をどう診るんだといったときに、なかなか病院って機能だけでは無理になってくると。今、在宅医療ってことを言われております「かかりつけ医」とか、そういうものの方が充実だとか、介護の方をもっと充実しなきゃいけないということもあるかと思えます。

そういうことの色んなことをシミュレーションしてると思うんですけども、そういう辺のシミュレーションを細かくして、将来予想いうものをつくりながら、そしてこれを作ったら20年もあるんだっていうことはないと思いますので、随時色んなことを変更していくと、そういうこと大事だと思います。大変だと思いますけれども、きめ細かに、これからもやっていただければと思います。以上です。

**【今金町 外崎町長】**

先生聞こえますか。

**【北海道病院協会 西澤常務理事】**

はい。すみません。どこら辺から途切れたでしょうか。

**【今金町 外崎町長】**

最初からです。ごめんなさい。

**【北海道病院協会 西澤常務理事】**

はい。すみません。

**【今金町 外崎町長】**

「荒木先生がおっしゃったように」というところから、途切れてしまいましたので。すみません。

**【北海道病院協会 西澤常務理事】**

今、荒木先生がおっしゃったとおりのことだと思います。

ただもう一つ言いたいのは、これから人口減を間違いなくなっていくといった時に、その人口減の時には、その年代別の人口減っていうものを、もうちょっとしっかり見ていく必要があるんじゃないかなと思っております。

要するに人口減の中で、普通であれば若い人がどんどん少なくなって、高齢者の比率が

上がっていくのか、逆に高齢者が少なくなって若いその比率が高くなっていくのか、その割合ってというのが非常に大事だっていうことが一つ。

もう一つは高齢者の比率ですね、高齢者、例えば70歳以上の高齢者だとしますと、70歳以上で、それぞれの年代でどうかっていうことも非常に重要になるんじゃないかなと思っております。

今の高齢者70歳以上の場合は、要するに団塊の世代が多いから70歳以上であっても、70歳代が一番多い、80歳以上の比率が少ないと思うんですが、例えば10年から20年後になると、団塊の世代はどんどん年取っていくということになると。

聞こえているでしょうか。

#### **【今金町 外崎町長】**

はい。聞こえております。

#### **【北海道病院協会 西澤常務理事】**

これからですね、80歳以上の比率が上がってくると思うんです。同じ高齢者の家族が言っても、80歳以上の高齢者が多くなってはどういうことかっていうと、要するに70歳から80歳だとまだ大体自宅にいたり、まだ働いたりしてるんですけど、80歳以上になると、大体自宅から離れて施設に入ってるか、入院してるかになるですね。

そうすると、そのサービスが医療と介護両方を見たときに、非常に介護の比率が高くなるとなると、それに対する町において、ある地域においてでも、サービスの形態を変えていかなきゃならないということが起きると思うんですよね。

そういうことで、今回かなりきちっとシミュレーションをやってるんですけども、そういうふうなことも合わせてやっていくと将来の医療・介護をどうするかっていうことが出てくると思います。それにきめ細かく対応できるようにしていただければと思います。

ただ、本当にこれから北海道全部、そうなんですけども、人口減になるっていうことは、やはり職員の数だとか働き手も少なくなるっていうことなんで、そういうことは医療・介護に限らず、地域で色んな職業の方がいると思うんですけども、そのバランスも考えなければならぬということで、大変だと思いますけども、その辺も含めてシミュレーション等をやっていただければと思います。

すいません。音声途切れてしまい申し訳ございませんでした。

#### **【今金町 外崎町長】**

ありがとうございました。それでは、次の方に移らせていただきたいと思います。

これから圏域を含めた公立病院の経営強化プラン策定状況の取りまとめについて、議題にしたいと思うわけでありまして、今話題になりました、熊石、或いは、せたなの病院等も含めて、圏域全体の連携体制の問題も当然、関わってくるわけでありまして、しっかりとこの圏域の中で合意を得ながら、方向性について、お互いに見定めながら協力体制をとっていかなきゃいけないと改めてこう感じたところであります。

これからのについても時間あるごとに、この二つの病院の建替、或いは、改築の状況提供し続けていかなければならないということをご共有したいと思います。

「報告3」でありますけども、今申し上げましたように、公立病院の経営強化プラン策定状況の調査の取りまとめの状況について、説明をお願いしたいと思います。

**【渡島総合振興局保健環境部八雲地域保健室企画総務課 宅間企画主幹兼企画係長】**

「報告3」として項目立てしております「公立病院経営強化プラン策定状況等調査のとりまとめ」についてご説明します。

資料3をご覧ください。元となるのは公立病院経営強化プランの策定検討状況等や課題を把握し、今後の助言や施策の検討に活かすことを目的とする総務省調査であり、令和4年7月末が調査時点ですが、病院個別な回答を公表することを前提とした調査ではないため、各病院から同意をいただきまして事務局で取りまとめを行いました。ただ内容的には雑駁な面がございます。申し訳ございません。この取りまとめ結果については、12月末に委員の皆様とご回答いただいた病院にお送りした経緯がございますので、事前にお目通しいただいているという前提で手短にご説明をさせていただきます。

取りまとめ結果の1ページ目の下段は基本情報となります。この調査で基幹病院を自主選択されているのは八雲総合病院のみで他病院は、それ以外の病院という回答されております。8月31日の第2回調整会議では、八雲総合病院を中心とした連携のもと、各病院で身近な医療が提供されており、引き続き連携を図っていくという整理をいただきましたので、この調査の回答としてはプラン策定の土台となるところは構想と整合的であるのかなという趣旨で取りまとめを行っています。

2ページ目の中段では、ここはグリーンのセルで自動入力のカラムですが、病床利用率を取りまとめています。休床も含めて自動計算されているためと思われますが、この調査で長万部町立病院が特に低くなっております。

2ページ目最後から3ページ目にかけては、プランの策定状況に関する説明を取りまとめました。プラン策定に関しては、地域政策課からも策定支援が行われていることと思えます。このプラン策定状況につきましては、後ほど現在の状況を各病院からご報告いただきたいと思えます。

続いて3ページ中段から下段にかけては、医師、看護師の確保及び派遣、また基幹病院の医師派遣の状況。

4ページ上段は基幹病院以外の病院に関する設問を取りまとめています。

続いて、医師の働き方改革に関連した項目となります。4ページ後半からは、医師の労働時間の把握に関する項目です。4ページ下から5ページにかけては、医師の労働時間の把握状況、労働時間の管理システムの導入状況などの項目と2021年の時間外・休日労働時間の状況を取りまとめています。

5ページ下段については、医師の労働時間の縮減を図るための各病院の取組、6ページ以降は特例水準の申請・指定に関する項目。宿日直許可の取得・申請などの項目を取りまとめています。

本日の調整会議にあたっては、この医師の働き方改革に関連する部分の重複についても、資料3の表紙に記載のとおり、各病院から報告をいただくようお願いしておりますので、後ほどご報告いただければと思います。私からの説明は以上となります。

### 【今金町 外崎町長】

機械の状況が良くないものですから、チャットでお知らせをしてる部分がありますので、ご承知おきいただきたいと思います。よろしく願いいたします。ちょっと不具合が生じております。

今のこの資料の情報交換の部分でありますけど、2つの項目を整理をしてお話をさせていただきたいと思いますが、1点目は経営強化プランの関係のお話と、2つ目は働き方改革、これに分けて進めてみたいと思います。

最初に、今案内がありましたように、それぞれのご出席いただいている病院の方々から、それぞれの病院に置かれてる状況等、或いは、経過報告等を含めてお話しさせていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

順番につきましては、資料3の下にあるように報告順となっておりますので、どうぞお願い申し上げます。早速でありますけども、八雲総合病院さんお願いいたします。

### 【八雲総合病院 竹内事務長】

八雲総合病院の事務長の竹内でございます。よろしく願いいたします。私の方から外崎会長の方からの提起がありました2点、報告させていただきます。

まず1点目、公立病院経営改革プランの策定期間でございますけども、令和4年度中、概ね3月を目途に策定に着手し、令和5年度中に策定を完了させるスケジュールを構想してございます。計画期間につきましては、令和6年度から令和9年度を構想しております。

続きまして働き方改革への対応についてでございます。1つ目が予定水準とその対応であります。当院が予定してる水準は、現段階でA水準を予定してございます。現在、医師に労働時間の把握のための申告を依頼しておりまして、医師の労働時間を毎月細かく確認をするようにしてございます。

2点目の予定水準に関連し、宿日直許可等の取得状況でございます。宿日直許可につきましては当院、函館労働基準監督署とともに、これまで取得した記録がないということを確認しておりまして、取得手続きが現在のところ必要となっております。今のところ、宿日直の時間帯に患者対応にどの程度、時間を要したか、これら細かに記録集計を継続しておりまして、当該記録を定期的に北海道医療勤務環境改善支援センターのアドバイザーにお送りをし、評価をいただいております。直近評価の印象としては、患者対応の時間の状況から、特に土日祝日の宿日直許可の取得が容易ではない状況となっております。問いにおける土日祝日の宿日直は北海道大学から医師の派遣をいただいております。仮の話となりますが、大学側から宿日直許可が得られない病院には医師を派遣しないという方針になりますと、土日祝日の救急医療提供体制が危機的状況となっております。

勤環センターのアドバイザーからは、当医療圏が医師少数地域であること、また、圏域内で二次救急を担当する病院が当院だけであることなど、地域の特殊性からアプローチをする提案も受けておりまして、3月中に一度、アドバイザーとともに、函館労働基準監督署へ相談する予定としております。

最後に医育大学や病院からの今後の医師派遣の状況でございますが、現在のところを各大学からは、今後の医師派遣に対して、正式な姿勢というものは示されておられません。ですが複数医局からは、宿日直許可の取得状況や今後の方向など、簡単なアンケートは送付

されているところでございます。公の立場で言うのは表明されておりませんが、当院としては何とか宿日直許可を取る方向で、努力して参りたいというふうに思っております。報告は以上でございます。

**【今金町 外崎町長】**

ありがとうございます。次に八雲町熊石国保病院さんお願いいたします。

**【八雲町熊石国民健康保険病院 福原事務長】**

熊石国保病院でございます。

まず初めに、経営強化がプランの策定状況でございますが、現在作業中でございます。令和4年度中、3月末までに策定を予定しておりまして、プランの対象期間は令和5年度からのスタートを予定しております。先ほど説明申し上げましたとおり建替事業を進めておりますので、プランの対象年度には現病院の経営、また、新病院の経営について網羅する必要があることから、現在も策定を進めているところです。

当初は2月中に策定をするスケジュールでおりましたけども、ちょっと遅れておりまして、3月末までに策定をすることで、現在も進めているということでございます。

続きましては、働き方改革でございます。まず、予定水基準のお話ですけども当院はA水準960時間以内という水準で考えてございます。ただし、現段階でも医師・先生方の勤務時間の把握方法をまだ定めてございません。検討中でありまして、今後定めていきたいというふうに検討を重ねてございます。

また、宿日直許可の手続きもこれからでございます。令和5年度中に早い段階でしっかりと宿日直許可の手続きをとりたいというふうに考えてございます。また、医師派遣に係る派遣元からの回答等ですけれども、特段何もございません。ただ、当院のでは令和5年度中に宿日直許可の手続きを取るっていう情報提供をしているといった状況でございます。熊石は以上でございます。

**【今金町 外崎町長】**

はい、ありがとうございました。映像の方ですね、所々ちょっと状況が悪い、不具合が生じてますけども、設定環境を今調整しておりますので、その影響であるということでございますので、映像よりもどちらかというと音声の方でしっかりと確認していただければと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

次に長万部町さんお願いいたします。

**【長万部町立病院 本前事務長】**

長万部町立病院事務長の本前と申します。昨年12月になりましたので、どうぞよろしくお願いいたします。

はじめに公立病院経営強化プランの策定状況でございますが、現在、策定作業を進めております。本院においても建物が昭和57年の建設で40年以上が経過し、老朽化しているということと、津波の浸水区域にあるものですから、。病院の移転改築の計画がありますので、それらを含めまして、令和5年度中にコンサルさんにも委託しながら、プランの策定



をしたいというふうに考えております。

続きまして働き方改革関連ですが、予定する水準は、時間外休日労働が年960時間を超えて勤務する医師がいないことからA水準を予定しております。宿日直許可の手続き状況ですが、A水準を想定した上で医師の勤務時間の把握など宿日直許可の準備を進めております。医師派遣に係る派遣元からの回答等ですが、土日に医師の派遣を受けていただいております北大病院からは、宿日直の許可が下りなければ労働時間の兼ね合いで、実質、派遣が難しくなるというお話しがきておりますので、また、時期としては夏頃までに許可を取って欲しいとの話がありました。そういうこともありますので、できるだけ早い時期に、宿日直許可を取りたいというふうに作業を進めております。以上でございます。

#### 【今金町 外崎町長】

ありがとうございます。次に今金町さんお願いいたします。

#### 【今金町国保病院 杉山事務長】

今金町国保病院事務長の杉山と申します。どうぞよろしくをお願いいたします。

私の方から経営強化プランの策定状況でございますけれども、まだ未着手ではございますけれども来週開催される病院の運営委員会、こちらの方に内容等の報告をし、そこから着手をいうような形で考えてございます。

3ページ目につきまして、できる限りかなと思っておりますが、できれば令和5年度、12月末までには策定をし、計画管理については令和5年度から9年度までの期間ということで進めていきたいというふうに思っております。

それと非常にうちの病院も古い病院でございますけれども、この改革プランが、経営強化プランの期間中での建替、或いは、大規模な増改築、そういった計画は今載っていない状況です。

それから医師の働き方改革のところでございますけれども、資料の方には幅広く色んな検討するような書き方をしてございますけれども、今まで報告のあった病院と同じように先ずは週末、派遣をいただいている大学病院と整合性を図っていかなければならないと思っておりますので、まだうちは札医大との連携でありますけれども、まだはっきりとした答えが示されておられませんけれども、何となくのニュアンスでは、派遣先の病院には宿日直許可を取っていただきたいというようなお話しに聞こえてきているところでございます。

当院としても何とか宿日直許可を取って、A水準を目指していきたいと思っております。以上です。

#### 【今金町 外崎町長】

ありがとうございました。続きまして、せたな町立病院さんお願いします。

#### 【せたな町立国保病院 西村事務局長】

せたな町立国保病院です。まずはじめに、策定の時期ですが、ほぼこのプランのたたき台はでき上がっております。それで従いまして令和5年度に入りまして、先ほど申し上げました医療等対策審議会、それから町議会、こちらの方にこの案を提示して、ご意見をち

ようだいた後に、策定という運びになろうかなと思っておりますが。

策定の時期につきましては、令和5年12月を予定しております。プランの期間につきましては、令和5年12月から令和10年3月まで。4年4ヶ月になりますか、この期間を予定しております。

次に。働き方改革の方ですけども。まず予定水準につきましては、当院も「A」を予定しております。取得状況につきましては、現在、取得しているものはございません。かなり古い書類を見ますと看護師の方の取得はしていたようですけども、ドクターの方の取得につきましては、していないという状況でございます。今後、宿日直許可の許可を取るという手続きに入っていかなければならないという状況でございます。以上でございます。

#### 【今金町 外崎町長】

ありがとうございます。レジュメにはロイヤル病院さんがあるわけでありまして、今日、不参加でありますので、事務局の方でも知っている限りの情報いただきたいと思いたすのでよろしくお願いいたします。

#### 【渡島総合振興局保健環境部八雲地域保健室企画総務課 宅間企画主幹兼企画係長】

道南ロイヤル病院の中野事務長が急遽、欠席されましたので、回答内容をお預かりいたしました。私どもから変わってご報告させていただきます。

働き方改革関連の項目になりますが、この対応については病院としてではなく、法人「IMSグループ」として進めてきたところがございますということでした。予定する水準については、医師の勤務実態はもともと960時間超えの条件内のことから、A水準を予定されているということです。関連して、宿日直許可などの手続きの状況なんですけど、令和3年11月15日付で届出を準備・許可されているということで、届出が終わっているということでした。

医師派遣に関する派遣元の意向なんですけれども、宿日直に関連して派遣を受けている札幌医科大学附属病院から引き続き派遣可能ですという回答を得ているということで、いただいております。以上です。

#### 【今金町 外崎町長】

ありがとうございました。それぞれの病院の方から状情報提供をいただいたわけでありまして、特にここで「何々病院さん、特にこの辺についてお聞きしたい」という部分がありましたらお願いしたいと思いたすのですが、いかがでしょうか。

情報提供でありますからね。今後について、またこういう機会を設けさせていただきたいと思いたすので、この策定プランにつきましては、道含めて指導機関は当然あるわけがあります。関わっておりますところの地政課の方でどなたか、今、情報を実際に出しているわけでありまして、そのことについて、感じるがありましたらコメントいただきたいと思いたすので、よろしくお願いいたします。

#### 【渡島総合振興局地域創生部地域政策課 清水市町村係長】

渡島総合振興局でございます。よろしいでしょうか。今、お話いただいたとおり、この

地域の医療機関の皆様は既に経営強化プランの策定の方に着手済、若しくは今年度中に着手されるということですが、経営強化プランの策定にあたっての支援ツールを一つご紹介させていただければと思います。

これは総務省と地方公共団体金融機構の共同事業ということで、地方公共団体の「経営財務マネジメント強化事業」といったものがございます。そのメニューの中に「公立病院経営強化プラン策定及び経営強化の取組」といった支援内容がございます。この事業は各団体さんの状況ですとか、要請内容に応じて専門家、いわゆるアドバイザーさんを派遣しますよということ、派遣経費に関しては、すべて金融機構の方が負担する仕組み・ツールとなっております。

今後のスケジュールとしましては、今月下旬を目処に4月以降の派遣申請に係る一次照会が予定されているということで、もし活用検討される場合は、積極的な検討をお願いできればということでございます。私どもの方から以上です。

#### 【今金町 外崎町長】

ありがとうございました。あとは檜山さん、お願いいたします。

#### 【檜山振興局地域創生部地域政策課 高橋市町村係長】

檜山振興局地域創生部地域政策課市町村係長の高橋と申します。通信が不安定のようなので、ビデオはオフにしたまま発言させていただきます。皆様方におかれましては、日頃から病院事業をはじめ、地方公営企業の運営等にご理解・ご協力いただき、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

渡島総合振興局からほぼ、説明させていただいたので、基本的にはご説明などはございませんが、1点だけ補足させていただきます。

事務的な話で恐縮ですが、不採算地区病院等に対する特別交付税基準額引き上げにつきましては、令和5年度も継続される運びとなっておりますが、先ほど、ご説明ありましたとおり、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけについて、5月8日からは季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行する方針となっております。この不採算地区病院等に対する特別交付税基準額の引き上げが、令和6年度以降も継続されるのか不明であるため、動向を注視していただきたいと思います。簡単ですが、以上となります。

#### 【今金町 外崎町長】

ありがとうございました。一通り様々な情報等、或いは、アドバイスをいただいたわけでありまして。プランについては、粛々と事務が進められてるという認識を持っているわけでありまして。

ここで、せっかく資料をまとめたものが当然あるわけでありまして、最初のスタートの段階の事務局の中でも言葉がありました、私も打ち合わせの中で気になった数字がありまして、この辺どうなのかなってということがあります。

2ページ目に「病床利用率」の数字があったわけでありまして。長万部町さん、これはあくまでも基幹的な問題なのか、或いは、特殊的な事情があつての、この調査をやった時のことなのか。16.9%と、とても低い利用率の数字が出たわけでありまして、ち

よっとその辺何か事情等が含まれて、あるのかどうか知り得る範囲内、或いは、教えていただける範囲内で情報いただきたいと思っておりますけどいかがでしょうか。

**【長万部町立病院 本前事務長】**

まずは病床数なんですけども、当院54床なんですけども、内訳が一般病床が30床、療養病床が24床でして、療養病床につきましては平成29年から休床となっております。でありますので実質30床での稼働ということになります。30床に置き換えますと、3ヵ年平均のところは26.2%となっておりますが47.2%となります。以上でございます。

**【今金町 外崎町長】**

ありがとうございました。分子と分母の関係だという認識を取らせていただきましたので、共有したいと思います。ありがとうございます。

とても重要な話題提供をしているわけでありますけど、とりわけ働き方改革の中で、それぞれの病院の取組、ほとんど今進められているわけであり、着々と整備をされているわけでありますけども、ここで各病院の報告、或いは、様々なことを含めてですね、アドバイザーの先生の方から、この働き方に関して、総論として相対的に何かご指導をいただけるようなコメントがありましたら、お願いしたいと思っておりますが、荒木先生に西澤先生、よろしくお願ひしたいと思っております。

**【北海道医師会 荒木常任理事】**

荒木からでよろしいでしょうか。

**【今金町 外崎町長】**

はい。お願いしたいと思っております。

**【北海道医師会 荒木常任理事】**

画面を切って、音声だけでお話させていただきます。

今、宿日直許可の方ですね、準備中であるというふうにお答えになった医療機関が多かったんですけれども、労働時間の把握ですとか、色々大変な面があると思っております。お察しいたします。

今、八雲総合病院さんの方は勤環センターの方と擦り合わせをして、土日の方をどうしようかってことで相談してるっていうふうに伺いましたけれども、ご承知のとおり、宿日直許可、労働基準局で許可出すわけですけれども、最近、地域の事情ですとか、それから医療機関の実情とか、かなり考慮して宿日直許可が出るようになってきてます。

北海道医師会で把握してる分といたしましては、例えば道内夜間急病センター等でも、患者のラインの少ない時間帯を区切ってですね、その時間帯に宿日直許可が取れたっていう事例も伺ってますし、結構、地方なんか、よく多いと思うんですが、大学からの土日連続で当直っていう形で、土曜日の朝なり昼にきて、月曜日の朝に変えるっていうのはそういった派遣を受けてるところも結構あると思うんですけれども、実際、非常に患者対応の少ない病院においては、例えば土曜の昼から月曜の朝までをですね、土曜日を昼12時から

日曜日の朝までを宿直、日曜日の朝から月曜日の朝を1回の日直ってというふうに認められる病院もありまして、そういうところでは、土日連続で医師の受入もできるようになってます。そういった許可がおりてる事例もありますので、最初から諦めずにといいいますか、こういったのはちょっと難しいかなっていうところも含めてですね、勤環センター等に相談されて、労働基準監督署の方に申請出されたらいいかなというふうに思います。

また、勤環センターだけではなくて、厚生労働省の本省の方でも、宿日直許可の相談をご承知のとおり受付けてます。厚労省がどのような形で対応するのかなと、私もちょっと最初は疑心暗鬼ではありましたが、実際に相談した医療機関の方を聞きますと、かなり医療機関側に則ったっていいいますか、医療機関側の立場に立った相談に乗ってくれているようでして、厚労省の方から労基署の方に、この時間にこの病院が来るから頼むよってというふうな形で、そういった口添えもしてくれるようなケースもあるようですので、お困りのケースとかは、厚労省の本省に相談するのも一つの方法かと思っておりますので、ご検討いただければと思います。私の方から以上です。

#### **【今金町 外崎町長】**

アドバイスありがとうございました。西澤先生お願いいたします。

#### **【北海道病院協会 西澤常務理事】**

私から2点で、1つは、やはりさっき話題になりました病床の利用率なんですけども、長万部町立だけじゃなくて、他のところもかなり低いということで、民間の考えでいると、やっぱりこれだけの利用率だったらなかなか経営できていないということでもあります。

もちろん公立病院の役割っていうのもあると思うんですけども、これだけであれば当然赤字が出ていくと、それは町財政とかに響くので、この辺はバランスを取れた、ある程度、病床利用率を保つやり方、要するに患者を増やすだけか減らすだけしかないと思うんですけども、その辺のことは、ちょっと真剣に今後、考えていく必要があるんじゃないかなって思っております。

それから働き方改革の方では、全ての病院の時間外が労働基準監督署の方で少し甘く見てもらえてるなって。クリアしてるんですけども我々から見ると、すごくいいんですけども、実際働いてるドクターは、どの程度労働の負担を感じているかということや、やはりそちらの方の意見も聞かないと。基準内だから良いよって言っている、医師の方がそうでないって考えると色々問題が起きると思いますので、ぜひ、実際働いてる先生方の意見と言いましょか、そういうものも十分聞いて、それで判断してやっていただければなと思います。以上です。

#### **【今金町 外崎町長】**

本当にありがとうございました。一応、今日の予定している事案につきましては、これで整理をされて、実施していきたいと思うわけでありまして、「その他」でもって一応、枠を作っておりますが、せっかくでございますので、今日参加されておりますところの今、お話がありました病院長の立場から、今日の会議を通じて、何か感じることがありましたら、言葉をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいといたします。

石田院長、川岸院長、大島院長の順でお願いしたいと思いますのでよろしく願いいたします。

早速ですけども、石田院長さんお願いいたします。

**【一般社団法人渡島医師会常任理事 石田八雲総合病院長】**

今、色々出ましたけど、やはり宿日直許可、特に土日の宿日直許可がとれるかどうか結構かかってくると思うんですね。でも取れば、今までどおりの大学からの派遣で救急診療が受入れることができると思いますけども、もし取れなければ、おそらく今、週末に北大から派遣してもらってるんですが、それがなくなることになると思うので、そうすると、土日の日直・宿直は自分の病院から出さなきゃならないっていうことになりますので、そうすると日曜日に宿直した医師は、月曜日の診療を休まなければならないという事態が出てくる可能性があります。

そうすると、いわゆる経営の問題等を考えれば、或いは、医師の負担も増えるなどということを考えれば、休日の救急を最悪ちょっと辞めたりしなきゃならないことも考えなければならぬんじゃないかということちょっと考えております。以上です

**【今金町 外崎町長】**

ありがとうございます。続きまして、川岸院長お願いします。

すいません。川岸院長、おられましたらお願いいたします。

**【今金町国保病院 杉山事務長】**

川岸がですね、今ちょっと業務にあたってまして、退席してましたので申し訳ありませんけど、よろしく願いします。

**【今金町 外崎町長】**

わかりました。大島院長お願いいたします。

**【せたな町立国保病院 大島院長】**

せたな町立病院の大島です。まず1つはスタッフの確保ですね。これ、働き方についても関わってくるんですが、医師のみならず、看護師、それから検査技師、薬剤師、全ての医療従事者の今後の予測というのが非常に懸念されていまして、24時間365日の医療体制をどう確保していくかということに対して非常に不安があります。

医師の働き方についても、石田先生おっしゃるとおり、週末にも自院で常勤医がそれを担うということになれば、ほぼ休みなく働かなくてはならないということで、それがまた、医師不足に繋がってしまうというところで、どう上手くやっていくかということが今後も課題になっていくのかなというふうに同様に感じています。以上です。

**【今金町 外崎町長】**

ありがとうございました。それと今、アドバイザー、全て医療現場に関わってる先生がどうかお答えがあったわけでありまして。もっとも重い課題であります。今日の会議、普通

であれば、これで終わるわけでありすけども、病院の設置者側、せたな町長さんと佐藤副町長さん来られてますので、相当ストレスが溜まったんではないかと思えますけども、その中においても何かこうコメントなりですね、今後に向けて、今日を締める言葉がありましたら、ちょっと一言ずつお願いしたいと言います。よろしくお願いたします。

**【せたな町 高橋町長】**

今、色々先生方の話を聞いて、相当厳しいなあという感じをいたしました。

この局面をどうやって乗り切るかということについては、病院の院長をはじめ、事務局等で知恵を絞っていただいてもらわないと乗り切れないというふうに思います。

我々としても現状の医療スタッフの確保、という部分については、これからもしっかり対応していかなければならないと改めて感じた次第であります、ということです。

**【今金町 外崎町長】**

ありがとうございました。佐藤副町長、お願いたします。

**【長万部町 佐藤副町長】**

長万部町の佐藤でございます。各病院の取り組み大変、参考になりました。ありがとうございます。

石田先生から、また大変、厳しいお言葉もいただいて、もうこれからどうやってうちの病院をやっていけよいかなって、ちょっと心配になりましたけれども、うちとしても年間300件余りの救急件数で、それから当直は絶対にいないと。

あと、その日に医師がいなくても受けないといけないという状況なり、また、経営も大変というところで、医師を増やしていけるのかなってという心配でございます。良い方法がありましたらぜひ教えていただけたらと思います。ありがとうございます。

**【今金町 外崎町長】**

本当にありがとうございました。以上、今日予定しておりました今、情報交換等を含めて、これで終了させていただきたいと思います。

まず事務局の方にマイクを渡しますので、よろしくお願いたします。

**【渡島総合振興局保健環境部八雲地域保健室 橋本次長】**

外崎会長、議事進行、ありがとうございました。そろそろ閉会でございます。

なお、外崎町長におかれましては、現在の任期を持って町長をご勇退されると伺っております。外崎町長は、2003年（平成15年）の町長選で初当選され、以来5期20年、それ以前の町職員の期間を合わせますと、約50年間、今金町と北渡島檜山圏域ファーストで幅広くご活躍されました。

町長は「地域医療を守る」という揺るぎないスタンスの下、本調整会議の会長として、また、地域における公立病院の開設者としての立場からも各方面で積極的に発言されるなど、様々にご尽力いただいたことは、皆様ご承知のとおりでございます。

八雲保健所といたしましても、あらためて外崎町長に御礼申し上げるところでございます。

す。この際ですので、外崎町長、今後の当圏域における地域医療への想いなども含めまして、一言いただくことはできますでしょうか。よろしく願いいたします。

### 【今金町 外崎町長】

以前にちょっと、そういう振りもありましたので、一言挨拶とさせていただきたいと思えます。

まず、情報提供させていただきたいと思えます。今金町の医療関係でございますけど、今は今金町の国保病院、民間もあるわけでありまして、昭和33年に設置され、以来、町の中核医療機関として存在しているわけでありまして、明治25年の頃からの「柘植医」制度というお医者さんの派遣制度がありまして、それから医療が確保されてきているわけでありまして。

ちなみにでありますけど、今年で106年目を迎えるという「岩間医院」がございます。この岩間医院は、対象初期に開業となりまして、現在御年91歳の、2代目でありまして、岩間 たかし先生が引き継がれているわけでありまして、圏域の医師会の会長もお勤めいただいたわけでありまして。

岩間先生、この度、第51回の医療功労賞ということで、全国地方表彰者35名のお一人に選ばれて、先般、札幌市で受賞され、私も同席させていただきました。

その授賞式の後でありますけども、情報が入りまして、今申し上げました35名のうちの10名の中、中央表彰者、そちらの方に選ばれたということでありまして、この後、皇居において、表彰状を受けられるという、とても素晴らしい出来事があったわけでありまして。

町としても、診療所の存在しては、この間もずっとあったわけでありまして、とても感謝をしているところでありますし、先生については、私も通っておりますけども、是非、これからも医療を守っていただきたいなという思いを持っているところであります。

今、紹介がありましたように私、平成15年に当時の市町村合併、或いは、病院運営の重要課題を抱えての町長の就任であったわけでありまして。

特に、病院経営面や様々な問題で、とても町民の方々から、特に病院に対する厳しい声もあり、町民の関心もとても高い状況からのスタートだったわけでありまして。そういう中にありながらも、よく言われます「どこの町長の重要な仕事は医師の確保だ。」ということがよく問われてきたわけでありまして、同じようなことも、私も経験させていただいておりますけども、もうこの間、本当に多くの先生方にも、出入りはありますけども、努力をさせていただいたと。スタッフについても、特に派遣したり何したりもしながら、確保してきたという状況にあるわけですね。

その中で、医療圏に関することでもありますけども、診療科目でとても少ない部分、足りない部分については、医療圏の道の関わりでありますけども、センター病院の方の無医地区の医療の医師派遣という制度がありまして、それを持って随分、助かった部分があるわけでありまして。

しかしながら、今も話題になりましたように、そもそも派遣の医師の確保が難しいという状況の中から、今申しましたような、無医地区医療に関わるような状況のセンター機能が薄れてきているということは事実だということを受けとめていかなきゃいけないのかなと思っております。



そういう状況にありながらも、先ほど申しましたように、院長をはじめとする医師、或いは、スタッフの皆さんで神経を注いで努力していただいているということに感謝をしているわけであります。先ほど西澤先生の言葉もありまして、とても厳しい重大な課題を抱えているという病院の問題、これはもう十分承知しているわけでありますけども、しかしながら、私的には自治体、或いは、首長の使命は何よりも住民の命も守ることよりも重きを置くものはないという認識を持っているわけです。そこから全てが始まるということでありまして、これまでも町には、やはり医療機関がなければいけない。個人を含めて、とりわけ公立も含めてそうでありますけど、そういう持論を持ってきたと。このことは今のタイミングにあっても、しっかりと伝えていかなきゃいけないという認識をしているわけであります。

そのことの大切さをつくづく感じたのは、この度の新型コロナウイルス感染症の対応であったわけであります。うちではないですけども、発熱外来の受入、或いは、重病者の受入などについては、残念ながら二次医療圏、或いは、三次医療圏での要請が叶わず、再編議論が当然、全国的に、或いは、この圏域もあるわけでありますけども、圏域という部分の中では大きな課題を残しているのかなと、そういう思いをしっかりと受けとめたわけであります。

結局、その町で完結しなさいということが、今回のコロナに関する医療確保の大きな問題ではなかったのかなと。改めて今申しましたように、公的な病院の必要性を痛感したと。色々ありますけども、やはり、そこに重きを置いたことに、目を背けてはいけないということも改めて認識をさせていただきました。

さて、退任でありますけれども、就任以来、こちらの圏域の会長をずっと務めさせていただきました。色々問題・課題も抱えながら進めてきたわけでありますけども、退任する者が、何を言うのかっていうような部分も当然あるわけでありますけど、少し感じてることを述べさせていただきたいと思いますが、この医療圏のあり方であります。

はっきり言うと、固定の会長さんを含めて、この体制をどうするかというなことでありますけども一つには、私には圏域全体である課題が様々当然こうあるわけでありますから、その圏域課題を全体で共有するというのを含めて考えますと、それぞれの町の特有の視点との様々問題ありますけども、多様な問題提起を持つという意味では、各町長が任期ごとに、ローテーションを組みながらやっていくっていうことも一つの方法としては、意義があるのではないかとということが1点目です。

もう1点目は、何よりも地域センター病院を有する八雲町として、センター病院のあり方を含めて、その課題をしっかりと圏域で発信をし、調整を図るということで、所在地、八雲町長が会長になっていただいて、リーダーシップを発揮すると、そういう期待することも大きな私は意義があるのではないかと。2つ目の選択でした。

3つの選択肢は、私も十分、感じているわけであります。全道の医療圏の会長会議もあります。その中で医療圏の会長で、医師の先生以外の会長をやっているのは、ここだけなんです。全部、医療圏の会長さんは、お医者さんなんですね。そこで常に私発言します。この会場中に病院の設置者は私だけですっていう中で、なかなかちょっと寂しい思いをしたわけでありますけど、このことをどうするかと。医療圏のこの会議そのもののあり方、様々な課題・問題がありますけども、この検討・議論の基本を医療全体の話で持っていく

のか、或いは、この再編を含めて様々なものを含めて、行政的な視点でもって物事を考えていく組織にするのかと。この選択肢をしっかり持ちながら、次の会長さんを選択するということが必要ではないかなと。再編を進めれば「再編」っていう言葉があれば、設置者は市町村長ですから、そっちがやっぱり重きを置かなきゃいけない。

医療の問題を含めて様々な対応するとすれば、やはりお医者さんを中心とした形の中で議論してかなきゃいけない。このことをどう捉えていくかということでは、1つ目、2つ目は首長と町長という立場がありましたけど、3つ目については医師会の代表の方に会長になっていただいて、整理をして取りまとめて調整しているということもあり得ると。その意義があるのかなと。

3つの投げかけをさせていただきながら、退任にあたってこれからも、よろしくお願ひ申し上げたいという言葉述べさせていただきたいと思います。

本当に長いことありがとうございました。

#### **【渡島総合振興局保健環境部八雲地域保健室 橋本次長】**

外崎町長ありがとうございました。それでは、以上をもちまして、「令和4年度第3回北渡島檜山圏域地域医療構想調整会議」を終了させていただきます。

なお、次回開催は、年度が明けた6月以降と考えておりますので、あらかじめご承知おき願います。

また、本日は、お忙しい中、また遅い時間帯での開催にも関わらず、多くの皆様にご出席いただき、誠にありがとうございました。来場の皆様は、お帰りの際は、交通事故等には充分ご注意ください。重ねまして本日は大変ありがとうございました。